

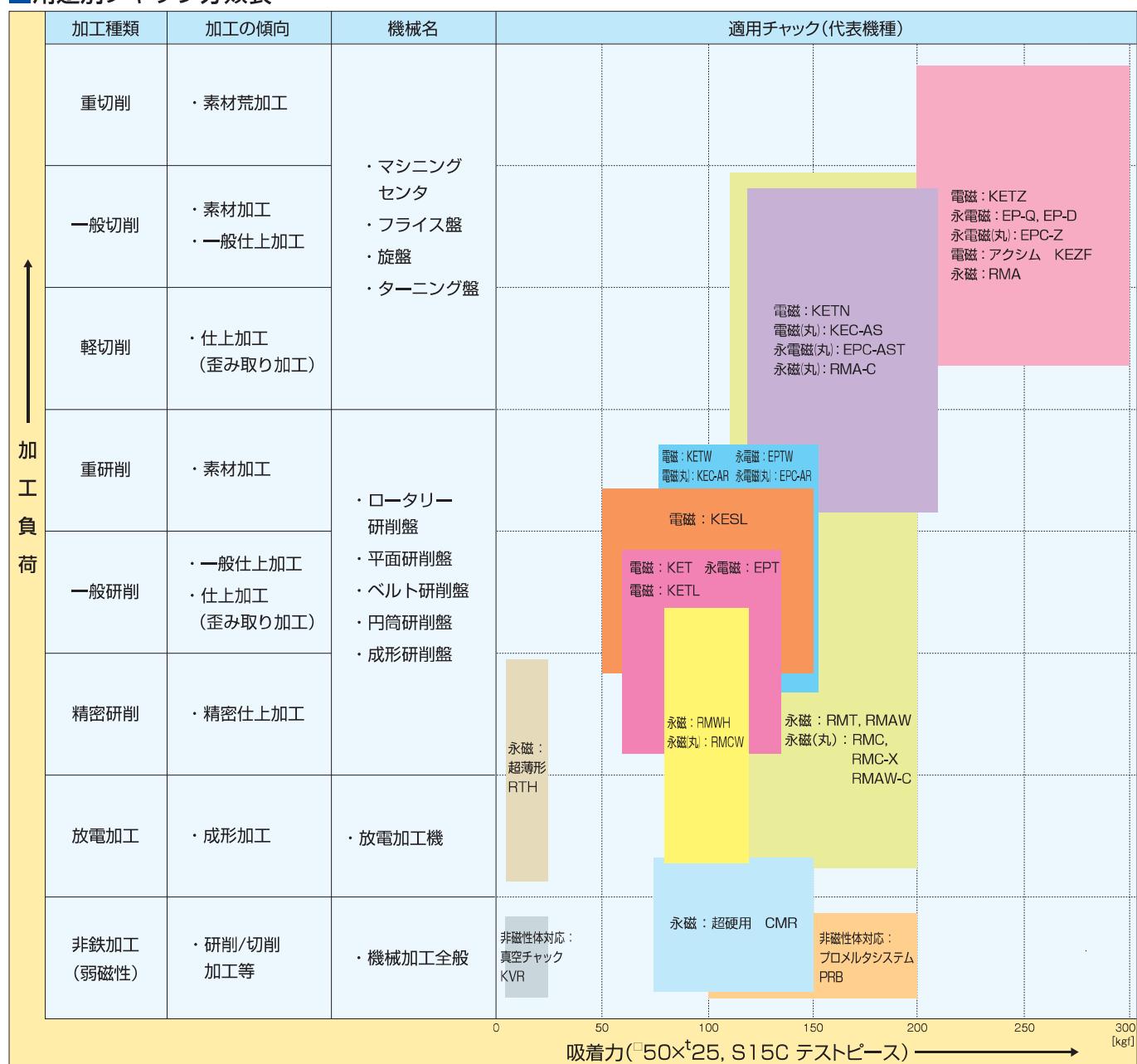
チャック選定ガイド

マグネットチャックには、**電磁チャック**、**永磁チャック**、**永電磁チャック**等の種類があり、それぞれに機能的な特長を有しています。

工作機器における加工作業に際し、ワークのチャッキングにマグネットを応用することは、20世紀の初頭頃から始められており、一定の歴史を持っています。とりわけ、最近の技術開発の進展は、マグネットチャックを単に研削盤対応の範囲から、マシニングセンタ・旋盤・フライス盤などの重切削作業への対応も可能な、強力なものへの進化を可能にし、その需要範囲を広げてきました。今日、金型や放電加工機分野向けなどへもその用途は拡大されつつあり、高精度加工への技術的対応もとりこんで、今後もますます重要性が高まる製品分野といえます。

また、当社ではマグネットチャックだけでなく、さまざまな素材の研削加工に対応可能な非磁性材料用のチャックもラインアップしており、お客様の多様なニーズにお役立て頂ける製品内容となっております。

■用途別チャック分類表



チャックの引合シートはこちらのQRコードから



■各種チャックの特長と概略

| | | | |
|------------------|---|------------------|--|
| 電磁チャック | <ul style="list-style-type: none"> ワークの着脱がスイッチ操作で可能。 機械と連動しての自動化が容易。 吸着力の強弱調整が容易。 チャックの大形化が容易。 | 永磁チャック | <ul style="list-style-type: none"> 電源を必要としないので省エネで、停電等による不安もなく、吸着状態を長時間保持可能。 発熱せず温度上昇による熱変位がありません。 |
| 水冷式電磁チャック | <ul style="list-style-type: none"> 水冷効果で通電発熱を抑制する構造の電磁チャック。 高精度作業向けで、しかも電磁チャックの特長を生かすことが可能。 ドライ（乾式）研削加工に最適。（ワーク自体の熱も吸収します） | サインバーチャック | <ul style="list-style-type: none"> 高精度研削や検査用のサインバー付きマグネットチャックです。 総合精度0.005mm以内の高精度仕上げです。 電磁式、電磁水冷式、永磁式、永電磁式など機種が豊富です。 |
| 永電磁チャック | <ul style="list-style-type: none"> ワークの着脱がスイッチ操作で可能。 電気は着脱時のみ瞬間に使う省エネタイプ。 通電発熱による熱変位がなく、高精度が追求できます。 吸着中に万一電源の故障や停電が発生しても吸着力は変化しません。 | 真空チャック | <ul style="list-style-type: none"> 大気圧を応用したチャックです。 非磁性材料を吸着保持します。 |
| | | プロメルタシステム | <ul style="list-style-type: none"> 加工物固定剤によりワークを専用チャックに固定。 非磁性材料を固定します。 |

■電磁チャックの種類

| 主な用途 | 適用加工機 | 種類 | 形式 | 掲載ページ |
|----------------|----------------------------|-------------|--------|-------|
| 歪み取り切削 | マシニングセンタ フライス盤 プラノミラ | ワークサポート機能付き | KEZF | P 45 |
| 歪み取り研削 | | T溝付き | KEZF-G | P 46 |
| 重切削、高速切削 | | 超強力型 | KEZK | P 47 |
| 切削 | | 強力波形 | KETZ | P 47 |
| 軽切削、研削、ベルト研削 | | 横細目形 | KESL | P 49 |
| 研削 | | 工アーアップ型 | KETB | P 49 |
| 研削、軽切削 | | 標準角形 | KET | P 50 |
| 薄物研削 | | マイクロピッチ | KETW-N | P 51 |
| 成形研削 | | 可傾形 | KET-U | P 51 |
| 大物加工物、刃物の角度研削 | | 連結可傾形 | KET-UT | P 52 |
| 研削 | ロータリー研削盤 | 丸形 | KEC-AR | P 53 |
| 切削 | 旋盤、ターニング盤 | | KEC-AS | P 53 |
| 研削 | 研削盤 | 水冷式 | KCT | P 54 |
| 成形研削 | | | KCT-U | P 54 |
| 研削 | | | KCC | P 55 |
| 研削、非磁性材、非鉄金属全般 | 研削盤 | 真空吸着機能付き | KETV | P 55 |

■永磁チャックの種類

| 主な用途 | 適用加工機 | 種類 | 形式 | 掲載ページ |
|-----------------|-----------|-----------|---------|-------|
| 切削、重切削 | フライス盤 | 強力型 | RMA | P 60 |
| 成形重研削、軽切削 | 研削盤、フライス盤 | 可傾形 | RMA-U | P 60 |
| 小物、薄物ワークの軽切削、研削 | 研削盤 | 小物・薄物用 | RMAW | P 61 |
| 薄物、厚物の軽切削、研削 | 研削盤、放電加工機 | 標準形 | RMT | P 62 |
| 小物、薄物ワークの密集整列研削 | 研削盤 | 角形マイクロピッチ | RMWH | P 63 |
| 成形研削 | 研削盤 | 可傾形 | RMT-U | P 65 |
| 切削 | 旋盤 | 強力丸形 | RMA-C | P 65 |
| 軽切削、研削 | 研削盤、旋盤 | スター・ポール丸形 | RMC-X | P 66 |
| | | 標準丸形 | RMC | P 66 |
| | | 小物・薄物用 | RMAW-C | P 68 |
| 薄物、厚物までの万能研削 | | 丸形マイクロピッチ | RMCW | P 67 |
| 軽研削、高速研削 | 研削盤 | 超薄形 | RTH | P 64 |
| 超硬など弱磁性体研削 | | 超硬用 | CMR | P 69 |
| 放電加工におけるワーク固定 | | 噴流穴付角形 | RMT-ED | P 70 |
| | 放電加工機 | 噴流穴付丸形 | RMC-ED | P 70 |
| | | 角形マイクロピッチ | RMWH-ED | P 70 |

■永電磁チャックの種類

| 主な用途 | 適用加工機 | 種類 | 形式 | 掲載ページ |
|--------------------|-------------------|-------------|---------|-------|
| 歪み取り切削 | マシニングセンタ フライス盤 | ワークサポート機能付き | EPZF-WX | P 71 |
| 重切削、切削 | | 強力型 | EP-Q | P 72 |
| 切削 | | 小物・薄物用 | EP-QS3 | P 74 |
| 重切削、切削 | | 消磁機能付き | EP-QD | P 74 |
| 重研削、軽研削 | | 消磁機能付き | EP-D | P 75 |
| 軽切削、研削、非磁性材、非鉄金属全般 | | 強力型 | EP-DWM | P 75 |
| 研削 | | 真空吸着機能付き | EP-DV | P 76 |
| 薄物研削 | | 標準角形 | EPT | P 76 |
| 成形研削 | | マイクロピッチ | EPTW | P 77 |
| 成形重研削、軽切削 | | 可傾形 | EPZ-U | P 78 |
| 切削、研削 | 旋盤、ロータリー研削盤 | | EP-DM-U | P 78 |
| 研削 | ロータリー研削盤 | | EPC-AST | P 79 |
| リング状ワークの切削加工 | 旋盤 | | EPC-ARF | P 79 |
| リング状ワークの研削、切削加工 | 旋盤、研削盤 | | EPC-Z | P 80 |
| | | | EP-DR | P 80 |

■真空・接着チャックの種類

| 主な用途 | 適用加工機 | 種類 | 形式 | 掲載ページ |
|-------------------------|--------|------|-----|-------|
| 樹脂など非磁性材、非鉄金属全般の研削、切削加工 | 機械加工全般 | 真空吸着 | KVR | P 89 |
| | | 接着 | PRB | P 92 |

チャック選定ガイド

マグネットチャックの吸着力

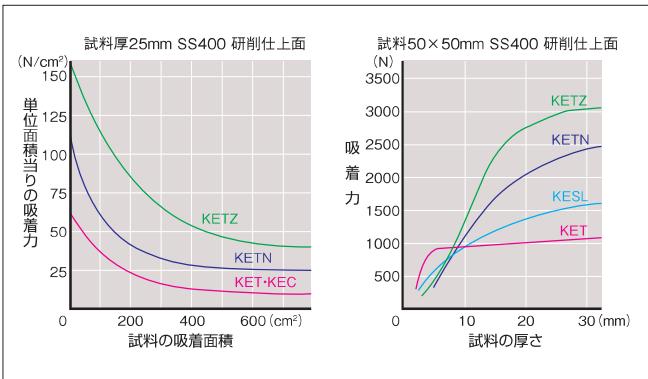
吸着力は、マグネットチャックの種類、ワークの材質、厚さや吸着面積などの他、質量の形状分布、吸着面の粗さによっても大きく違つてまいります。ここに掲示のグラフは代表的な例を示したものですが、おおよその傾向値を示すものとして参考してください。個々のチャックでは若干の差異があります。なお加工物は必ずセパレータを挟んでN・S両極にまたがるように吸着位置を定めてください。

使用研削油剤の選定

チャック作業面のセパレータ部分には、黄銅・樹脂などが使用されていますのでこれらに対して腐食性の低い研削油を選定してください。
詳しくは研削液メーカーにご相談ください。

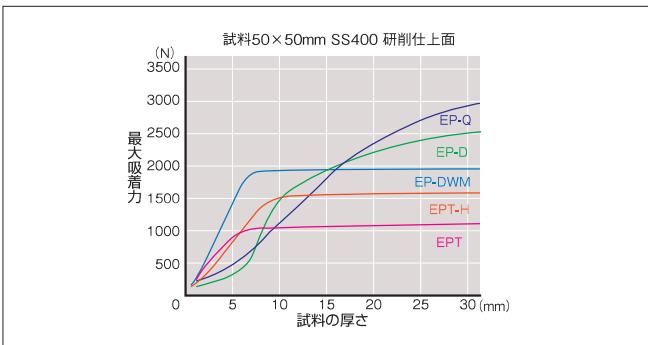
吸着力の傾向値データ《電磁チャック》(1N=0.1kgf)

- ワークの吸着面積と吸着力の関係
- ワークの厚さと吸着力の関係



吸着力の傾向値データ《永磁チャック》(1N=0.1kgf)

- ワークの厚さと吸着力の関係



吸着力と磁極間隔(ピッチ)

ワークに適したピッチの選定には絶対的な基準はありません。しかし、一般的な目安としては、ピッチの2倍~4倍ぐらいの厚みのワークが最も吸着条件が良いといえます。

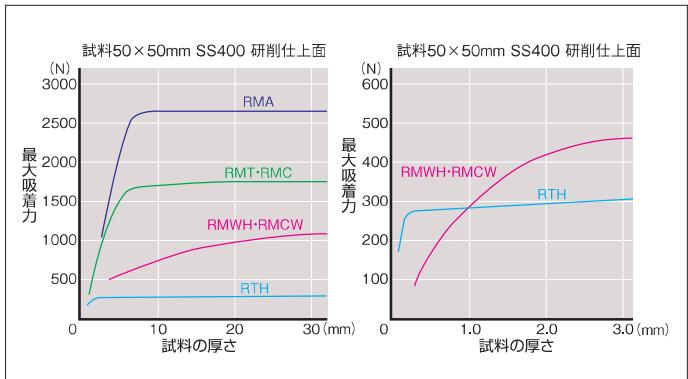
また、強く吸着するためにはN極とS極にまたがることが必要なため、ワーク吸着面はピッチの3倍以上の辺の広がりを必要とします。

環境志向

吸着面構造部材の結着に、環境負荷物質として一般的に使用されているハンドを廃止し、特殊樹脂を使用しているマグネットチャックです。

吸着力の傾向値データ《永磁チャック》(1N=0.1kgf)

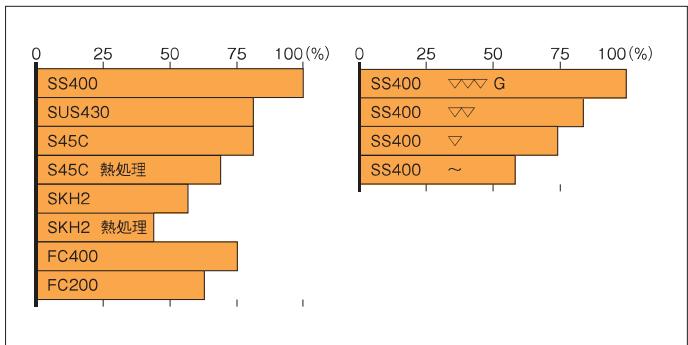
- ワークの厚さと吸着力の関係



材質等と吸着力の相対的関係《チャック全般》

- 材質による吸着力の差(%)

- 接面仕上による吸着力の差(%)



※吸着力の傾向値データは、代表的な機種の参考値であり保証値ではありません。

電磁チャックの規格

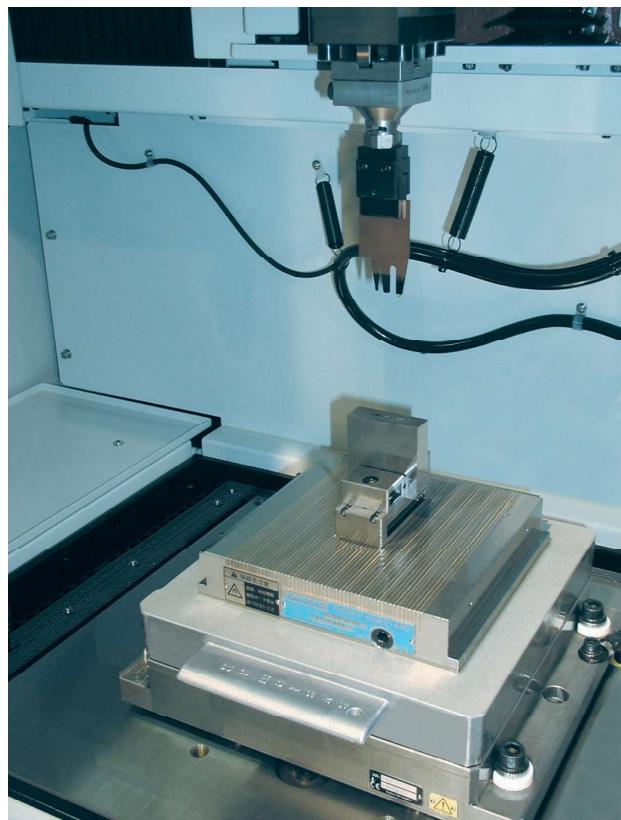
規格

電磁チャックの品質上の基準は、寸法上の精度(平面度／平行度)、吸着力、電気的性能(耐電圧／絶縁抵抗／温度上昇限度)そして耐水性に関し、その試験方法を含めて下記の通り定めています。

(mm)

| 面板の長さまたは直径 | 300以下 | 300を超える600以下 | 600を超える900以下 | 900を超えるもの | 表面粗さ：6.3Sとする。 取付面：中高であってはならない。 | |
|------------|---|--------------|--------------|-----------|-----------------------------------|--|
| 平 面 度 | 0.01 | 0.015 | 0.02 | 0.025 | | |
| 平 行 度 | 0.02 | 0.03 | 0.04 | 0.05 | | |
| 吸 着 力 | チャック面板上における吸着力は、平均98.1N(10kgf)以上で、最も弱いところで49N(5kgf)以上でなければならない。 | | | | | |
| 耐 電 圧 | 充電部と本体との間で絶縁破壊を起こしてはならない。(AC1500V 1分間) | | | | | |
| 絶 縁 抵 抗 | 絶縁抵抗は、5MΩ以上でなければならない。(500V絶縁抵抗計による) | | | | | |
| 温 度 上 升 | チャック作業面の温度上昇は、15°C以下でなければならない。(通電3時間) | | | | | |
| 耐 水 性 | チャックを水中に入れた場合、内部に水が侵入しない、絶縁が低下してはならない。 | | | | | |

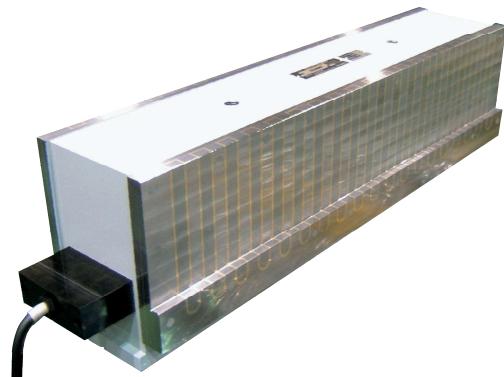
注) 吸着力と温度上昇については機種により規格が異なります。



放電加工機用永磁チャック



切削用永電磁チャック(大形サイズの製作例)



垂直型2面吸着永電磁チャック



研削用永電磁チャック(大形サイズの製作例)

カタログ掲載品以外の特殊仕様についても対応致します